会　議　概　要

会 議 名 称	人権尊重の明るい伊那市づくり審議会
日　　時	平成３０年７月２日（月）　午前１０時～午前１１時２０分
場　　所	５０２会議室

会議事項・概要

１　開　　会

２　委嘱書交付

３　あいさつ

市長

・人権は、国際的にも最優先されるルールで様々な場面で人権意識の定着が必要である。

・子どもへの虐待、パワハラ、セクハラなどの人権侵害についてのニュースが後を絶たないことは残念である。

・人権を守る気持ちを持ち続けるための人権教育や、啓発活動の取組についてご協議いただきたい。

４　自己紹介

・委員より自己紹介

５　正副会長の選出

互選により

・会長　池上　眞澄委員

・副会長　山﨑　恭子委員

６　協議事項

（１）平成３０年度人権関係事業計画について　（幹事説明　概要）

①企画政策課

・人権同和問題は関係部局間が連携して行う。

・乳幼児に関わる保護者に人権問題を意識づけるため、子育て支援センターで啓発を行う。

・男女共同参画については女性活躍のための新たな事業を行う。

・外国人への支援として、伊那国際交流協会へ相談事業を委託している。

②市民課

・平成３０年４月１日の外国人住民数は１，６２９人で、若干増加している。

・２９年度の相談者数は５，５４７件で横ばいである。

③社会福祉課

・犯罪や非行のない安全・安心の取組として、「社会を明るくする地域づくり大会」を７月７日（土）に高遠町総合福祉センターやますそで開催する。

・障害者への居宅、施設サービスの提供など、障害者に対する取組をしていく。

・避難行動要支援者台帳の整備を進め、災害時の支援体制を充実する。

④子育て支援課

・園児、保護者、職員を対象に、それぞれの立場で人権感覚の育成や向上などの取組を行う。
・外国籍保護者に対して、通訳を介した懇談会を定期的に行う。
・平成 29 年度の虐待通告件数は前年より減少したが諏訪児童相談所管内では増加している。被虐待児は小学生以下が多く、主たる加害者は実母である。

⑤健康推進課
・今年度中に「自殺対策基本計画」を策定し公表する。
・高校生を対象にした乳幼児健診体験などいのちの教育について、受け入れ校や人数の減少が課題である。
・虐待予防のため妊娠期から子育て期にわたるまで継続した支援を実施する。

⑥高齢者福祉課
・認知症を考える市民のつどいを 7 月 28 日に開催予定。
・高齢者の見守り体制構築のため 9 業種 54 事業所と連携している。

⑦商工振興課
・各企業の研修会等への積極的な参加や、人権教育資料などの配布により、公正な採用選考の実施に向けたさらなる取組を促す。
・ワーク・ライフ・バランス、障害者雇用、ＬＧＢＴについて、企業訪問時に啓発を行なう。

⑧学校教育課
・人が人として尊重される人権文化の構築を目的に、対象者に応じたテーマ設定で学習を推進する。
・小学校では同和教育に「あけぼの」を活用する。
・中学校ではインターネットの人権問題について学習する。

⑨生涯学習課
・生涯学習講座や公民館講座を開催し、全年代の人権尊重意識の育成を目指す。
・来年度開設予定の人権同和教育指導者養成講座の準備を行う。
・10 月、11 月、1 月に人権同和教育講座を開催する。

≪質　疑　≫

委員：戸籍などを第 3 者から請求があった場合の本人通知制度を行っているか。
市民課：検討はしたが、行っていない。
委員：本人が知らない所で取得され、出回っている事例が過去にあった。制度の導入を検討してほしい。
委員：伊那市にもご飯が食べられない子供がいると聞いた。子ども食堂などの取組がされているか
社会福祉課：食糧調達のしやすさなどから、民間や社協が行っている。社協が開催回数など計画していく。
委員：この審議会は、今後どのように進んでいくのか
事務局：本日計画についてご意見をいただき事業を進めていく。2 回目の審議会で実施内容を報告し、次年度へ向けての提言をいただく。
委員：会議の回数を増やさないと、課題の解決につながっていかないのでは。課題解決について、市民にどのようにブレイクダウンするのか。一体感が出てくることが大切。
事務局：人権の問題は幅広であり、総花的な発表でＰＤＣＡを回してる。
審議会の持ち方は議論になったことがある。本日こうした形でスタートを切ったが、検討させていただく。

委員：子育てしながら働く女性のメンタルケアの必要性を感じている。市ではどのような対応をしているか。

健康推進課：保健センターで随時相談を受け付けている。地区には担当の保健師がいるので活用していただきたい。

委員：市民以外も対応できるか。

健康推進課：相談窓口は各市町村にもあり、伊那保健福祉事務所でも受け付けている。

委員：児童虐待に関して、大変重い課題がある。色々な家庭を支えていかなければならないが継続支援がされているのか。

子育て支援課：課題は複雑化している。ケース会議などで情報共有している。特に、子ども相談室が児童相談所と連携して継続的にケアしている。

委員：すでにスタートしている事業もあり、計画どおりきちんとやっていただければと思う。「社会を明るくする地域づくり大会」のマンネリ化は確かに課題で、広がりが見られないので工夫して、前進する企画をお願いしたい。

委員：駒ケ根市で自立支援の会議に出席したが、駒ケ根市民の方が障害者に対する理解があると感じた。駒ケ根市は、多様性を受け入れる地域性から、海外協力隊もあるのでは。視野を広げて、良い点は外から学んでほしい。

委員：近所の一人暮らしの高齢者が、庭で転んでいたが気づくのに時間がかかった。救急車が来た時に説明のあった「救急医療情報キット」が実際役に立った。

会長：運転免許返納についてどのような支援があるか。

高齢者福祉課：運転経歴証明書の取得助成や、バス、タクシーの割引、いきいき健康券、地域公共交通対策など、課が分かれるが、足の確保を考えている。

会長：住んでいる地域によって、事情がそれぞれ違うが誰もが安心安全で暮らせる、世の中にすることを考えていかなければ。いつでもサポートできる体制づくりが必要である。

副会長：自分の地域は子どもの声がしない。通院や買い物など課題がある。今日、計画を聞いて、大変な問題がたくさんあると感じた。

会長：今日の審議会で、様々な課題と取組があることに気づけた。今後もそれぞれの立場でご意見があれば聞かせていただきたい。

7　その他

なし

8　閉　　会